

南房総 ゾーン

暮らしやすさ
特長とヒミツ

美しい海岸・里山 癒やしのリゾートもすぐそこ



あー、
豊かな自然は
空気まで
おいしいねんなあ



日本で唯一雨水だけで耕作を行なっているという、県指定名勝の「鴨川大山千枚田」(鴨川市)

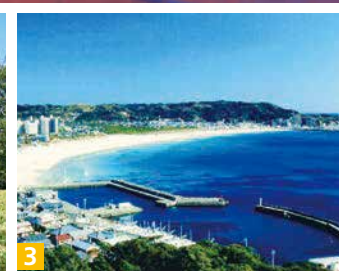
南房総ゾーンは8市町。温暖な気候、暮らしやすい自然環境に恵まれ、首都圏からの移住先として人気が高いゾーンです。美しい海岸線と里山が印象的！ 早春から花が楽しめるだけでなく温泉地として有名なものも見逃せません。農産物・水産物の直売所、高度先進医療を推進する医療機関もあって、日々の暮らしが楽しめる、心やすらぐゾーンなのです。

東京駅へ的高速バスアクセス
館山駅から(アクアライン利用)…約2時間
安房鴨川駅から(アクアライン利用)…約2時間10分

自然の美しさ、最高！

美しい海岸線がどこまでも続き、その光景は癒やしそのもの。海のない県から移住したら、どっぷり魅力にハマリそう。サーフィン・シュノーケリングスポット、ウミガメの産卵スポットなど、海に惹かれる移住者も多いのです。里山の自然も、住む人を優しく包んでくれますよ。

- サーフィンの世界大会も開かれた「部原(へばら)海岸」(勝浦市)。フィッシングポイントでもあります
- 2014年3月、千葉県初の「森林セラピー基地」に認定された南房総市。森林部の癒やし効果が立証され、ウォーキングやヨガセラピーを開催中
- 白い砂浜が見事な「御宿海岸」(御宿町)。童謡「月の沙漠」の発祥地



1 「館山ファミリーパーク」(館山市)は房総フラワーライン沿いの春の楽園。春には10万株100万本のポピーが咲きます

2 「鴨川シーワールド」(鴨川市)は教育活動や地元との連携もさかん



ウミガメ保護活動も行っています

家族のお出かけに迷わない

観光地として有名なスポット、そこは近場のお出かけにもびったりの、遊びスポットでもあるのです。「鴨川シーワールド」(鴨川市)、「アロハガーデンたてやま」(館山市)、「千葉県酪農のさと」(南房総市)をはじめ、テーマパークや公園などが充実。ほかにも体験施設などが目白押し！ 未知のワクワクに出会えそう。



1



2

／食べたらやみつき／

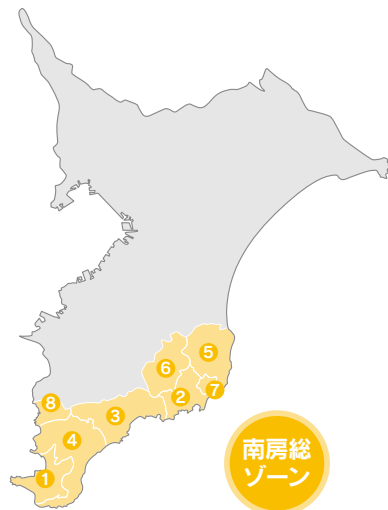


3

食の豊かさはピカイチ

カツオ、アワビ、イセエビなど、種類に富んだ魚介が水揚げされる漁港があり、B-1 グランプリゴールドグランプリ受賞で脚光を浴びる「勝浦タンタンメン」などの個性派グルメまで、食の豊かさはピカイチ。「イオンタウン館山」（館山市）、「フローレ鴨川ショッピングセンター」「ペイシア鴨川店」（鴨川市）などのショッピングセンターをはじめ、海産物、農産物の直売所が豊富。道の駅もたくさんそろっています。

- 1 2015年12月オープン「都市交流施設・道の駅保田小学校」（鋸南町）。廃校を“コミュニティの核となる施設”として再生
- 2 「道の駅たけゆらの里おおたき」（大多喜町）はタケノコなど里山の産物もそろいます
- 3 「勝浦タンタンメン」は海女、漁師が寒い海仕事の後に、冷えた体をあたためるメニューとして定着



南房総
ゾーン

- 1 **館山市** たてやまし
雇用商工課
館山市館山1564-1「渚の駅」たてやま
☎ 0470-22-3136
<http://www.city.tateyama.chiba.jp/>
- 2 **勝浦市** かつうらし
観光商工課定住・ビジネス支援係
勝浦市新官 1343-1
☎ 0470-73-6687
<http://www.city.katsuura.lg.jp/>
- 3 **鴨川市** かもがわし
まちづくり推進課
鴨川市横渚 1450
☎ 04-7093-7828
<http://www.city.kamogawa.lg.jp/>
- 4 **南房総市** みなみほうそうし
企画財政課
南房総市富浦町青木 28
☎ 0470-33-1001
<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/>
- 5 **いすみ市** いすみし
水産商工課
いすみ市大原 7400-1
☎ 0470-62-1332
<http://www.city.isumi.lg.jp/>
- 6 **大多喜町** おおたきまち
企画課
夷隅郡大多喜町大多喜 93
☎ 0470-82-2112
<http://www.town.otaki.chiba.jp/>
- 7 **御宿町** おんじゅくまち
企画財政課
夷隅郡御宿町須賀 1522
☎ 0470-68-2512
<http://www.town.onjuku.chiba.jp/>
- 8 **鋸南町** きよなんまち
地域振興課
安房郡鋸南町下佐久間 3458
☎ 0470-55-1560
<http://www.town.kyonan.chiba.jp/>

気軽に入れる温泉天国！

立ち寄り温泉など、気軽に入れるスポットもあり、いつでも温泉ライフが楽しめるのが魅力！「鴨川温泉」「小湊温泉」（鴨川市）のほかにも、「館山温泉」（館山市）、「養老溪谷温泉」（大多喜町・市原市）、「白浜温泉」「千倉温泉」（南房総市）、「勝浦温泉」「鶴原温泉」（勝浦市）、「笑楽の湯」（鋸南町）などがズラリ！

1



美貌と健康が
保てるワ



2



12 鴨川温泉・小湊温泉は、鴨川市内の旅館・ホテルが参加し、「温泉宣言」をして新しい温泉地の創造を図っています。

暮らしの“気になる”をチェック！

住環境・仕事

テレビの旅・観光番組などでも頻りに登場する南房総ゾーン。気候・風土を生かしたまちづくりが特徴で、医療・介護分野にも注力しています。

また、農業・水産業をはじめ、観光地ならではの多彩なサービス業など、地域内で仕事や生活をする人の割合が千葉県内で一番多いとか。「自分の夢をかなえる」人たちがたくさんいて、自分が憧れる“ちょうどいい”暮らしが手に入りそう！

移住希望者
向けのサイトも
充実



健康・医療

鴨川市に日本最大級の私立総合病院「亀田総合病院」をはじめ、「亀田クリニック」、「亀田リハビリテーション病院」、館山市に「亀田ファミリークリニック館山」、「安房地域医療センター」などが。

「亀田総合病院」は、災害拠点病院、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター、臨床研修指定病院にもなっています。





**南房総
ゾーン**
移住者
インタビュー

永森昌志さん

- 連絡先
- ・シェア里山「ヤマナハウス」
〒294-0802 千葉県南房総市山名1395
 - ・コワーキングスペース「HAPON新宿」
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目4-4
☎ 03-3363-3623

シェア里山
「ヤマナハウス」
のホームページは
右記QRコード
からアクセス▶▶



**南房総ゾーンは、
温暖で自然豊かな
観光地でもある地域です。**

新宿では「HAPON新宿」、南房総では「ヤマナハウス」を運営しながら南房総の地域活性に取り組む永森昌志さんに、都心に暮らす人にとっての2拠点生活や里山暮らしの価値についてお聞きしました。

**新宿と南房総で
コミュニティイベントを開催
南房総エリアを立体的に
浮かび上がらせたい**

都内ではHAPON新宿というコワーキングスペース兼シェアオフィスで、2018年から「南房総2拠点サロン」という南房総に関わりたい人や関わっている人が集うコミュニティイベントを毎月開催しています。毎回、異なるテーマで「南房総エリアを立体的に浮かび上がらせる」を目的としています。

もう一つ南房総では、古民家、畑、裏山を楽しむシェア里山として「ヤマナハウス」を南房総市三芳地区で運営しています。これは都心から月に1回程度で来る人、移住者、地元の人が集うコミュニティスペースで、そこでDIYをしたり、マインドフルネス講座やヨガ講座、林業講座、狩猟講座など里山をフィールドとした色々な講座を開催しています。

里山は拡張性がある

僕が地方に興味を持って移住して、南房総にフォーカスして都心と太いパイプでつなげられないかなと思って開催したのが「南房総2拠点サロン」です。

また、僕が2拠点生活をしていく中で、いろんなことをシェアした方が経済的にも良く、心理的にも楽しいと感じていて、シェアって本当に良い仕組みだなと思って始めたのがシェア里山「ヤマナハウス」です。暮らしていく中で古民家や里山、アウトドアやネイチャーには拡張性があるって気づきました。例えば家だったらDIYしやすいし、土地だったら畑にしても、色々自由度が大きくなっていきます。





2つのコミュニティで暮らすと 息苦しさがない、みんなそれを求めて来る

新宿と南房総、2つのコミュニティで暮らしていると、他のコミュニティもあると思えるので1つのコミュニティにとらわれなくて済むし、今いるコミュニティも大事にできる。つまり、優しくなれると感じます。みんなも、やっぱり息苦しさなくなることを求めてヤマナハウスへ来られているみたいです。

都市的なものが好きな人でも田舎を必要としていると思います。田舎暮らしって、例えばDIY、原始的な生活、オーガニックが好きな人たちだけのものだと思っている人が多く、そこで線を引いてしまうけれども、都会の人でも「田舎にいくと気持ちよくてリラックスする」と、ヤマナハウスに来られる人たちは言っています。だから、そういう人たちこそ1回来てみるといいと思っています。

都心と田舎を組み合わせると 新しいことを始めるのが クリエイティブだと思う

田舎な南房総エリアと都心の距離感は、やっぱりユニークです。南房総に移住した人と都心の人が行き来する社会になれば面白いし、新しいものが生まれるんじゃないかなと思っています。例えば、ヤマナハウスの裏山の木を切って広場を作って、プロジェクターで映画を観られるようにして、裏山焚き火シアターを作ってみたり、洞穴があるので、そこを閉じて洞穴サウナを作ってみたり、古民家の裏でサウナに入ったり。自然や田舎が元にあって、そこに現代的なものを融合していく、そういうどうなるかわからないものはワクワクしますよね。このワクワクにはすごくクリエイティブを感じます。そういうものをコミュニティの関わりの中で作り出していけたらと思っています。

新宿も南房総も 来られるひとは老若男女

都心の人参加するし、2拠点の人参加する。「南房総2拠点サロン」をやって気付いたのは、1/3ぐらいの人は房総半島や南房総に興味ある人たちです。

講座に来られる方の年齢層は20代から50代ぐらいまで、男女比は男性がちょっと多いぐらいです。ヤマナハウスにいらした方の中に、仕事が忙しい20歳代のSEの女性がいて、彼女は数か月に1回しか来れないんですが、来ると「すごくりフレッシュする」と言ってくれます。SNSではないコミュニティに自分が属しているっていう感覚は、息苦しさも無くなると感じられるそうです。あとは、リモートワークしている人もいますね。土日と月曜日は南房総で仕事して、都心に帰るという形です。東京出身だから感じるどころですが、地方のコミュニティは普段都心では会えない人にも会える、年齢の幅も仕事の幅も広がるという声はよく耳にします。都心にいれば、キャリアアップはしやすいと思います。ただ、それ以外にも、みんな自分の実現したいことはあると思っています、それを試すのは田舎の方がやりやすいです。

南房総ゾーンの主な移住支援団体

NPOおせっ会



館山への移住をお手伝いします。まずは、お気軽にお家のごこと、就職のごこと、どんな事でもご相談ください。空き家バンク開設中。

〒294-0036
館山市館山1564-1 “渚の駅”たてやま南
Tel: 0470-22-3136
URL: <https://www.osekkai.org/>
ホームページは右記QRコードよりアクセス▶





**南房総
ゾーン**
移住者
インタビュー

鈴木菜央さん

●連絡先
特定非営利活動法人グリーンズ
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォーム
スクウェア4F

グリーンズの
ホームページ
「greenz.jp」は
右記QRコード
からアクセス▶



いすみは、
太平洋に面した温暖な気候。
官民協働で移住定住施策を進め
移住者が増えている地域です。

豊かな漁港やほたるが棲む里山もあり、9月には「大原はだか祭り」で町中が盛り上がる活気のある町です。そんないすみ市に住み、地域の小商い文化作りに貢献し、ウェブマガジン グリーンズ編集長でもある鈴木菜央さんに、今、いすみで動いていることを教えて頂きました。

豊かな漁場がある里海が豊かなまち

東京から電車で1時間~1時間半くらいの、ほたるもたくさん棲む里山エリア、豊かな漁場がある里海が豊かなまちに住んでいます。他の自治体と同じく少子高齢化問題に悩みつつも、ここ10年ほど官民が協働しながら移住定住施策を積極的にやってきたことで少しずつ移住者も増えています。さまざまなマーケットが行われていて小商いも盛んですし「港の朝市」があったりして、最近では起業する人も増えてきているエリアです。



**起業しやすく持続可能なまちを
目指しています**

いかしあう関係性をつくれる人を全国に増やし、持続可能な地域を増やしていきたいと思って活動しています。全国に「いかしあうつながり」を広げていくウェブマガジンや学びの場の提供をしているNPO法人グリーンズのほか、いすみでは、主に4つのプロジェクトに取り組んでいます。市民がまちの未来について自由に語り合う「いすみ未来百人会議」、移住者を中心に160人が参加して要らなくなったモノのシェアや困りごとの解決をする「いすみ発の地域通貨米(まい)」、地元での起業をサポートしあう場と人のつながりをつくる「ローカル起業プロジェクト」、自然と調和した暮らしのデザインを学ぶ「パーマカルチャーと平和道場」です。自分らしく暮らしやすく、起業しやすく、持続可能なまちを、仲間たちと一緒に目指しています。





自分の活動で住む地域が 変わっていく

単純に、楽しいから、まちづくりに取り組んでいます。たとえば、いすみローカル起業プロジェクトの一環で「いすみローカル起業部」という活動をしています。部員が80名ほどいて、地域で起業したい人やすでに起業して活動している人同士が助け合う関係性をつくっています。それで実際に起業が次のステージに進んだ人も多いです。

実際友達が増えたり、心からつながる仲間たちと共に生きていくことができているように思います。地域がいい場所になれば、それは僕自身にも、家族にも、子どもたちにも還ってきます。それと、自分の活動を通じて自分が住む地域が変わっていくというのはすごくエキサイティングなことだと思うのです。大都市では、なかなか感じられない感覚ですよ。

興味がある方は「いすみローカル起業キャンプ」に参加してください。いすみの資源を観察したり、ローカル起業家のところにフィールドワークに行き直接話を聞いたり、「もしいすみで起業するとしたら」をみんなで考えるワークショップも行います。

夜はもちろん懇親会も。

詳しくは、<https://isumilocal.jimdo.com/> からどうぞ。

どこに住んでいても、消費者ではなく、自分の暮らし、まちに対して能動的になることが大事だと思います。僕もそうだったんですが、「消費者」とは、水や暮らしに関することをすべてお金を介して消費する人のことです。僕は阪神淡路大震災の経験を経て、消費者というのは災害や経済危機が起きたときに対応する力がない、そもそも生きるチカラが乏しい状態だと思います。すべてに高コストな都市はそういう場所ですよ。田舎に行けば解決するわけじゃないけど、生活コストが安くて、隙間、余白がいっぱいあって、消費者としての自分でなく、暮らしをつくり、社会をつくる人として暮らしてみたいと思うなら、いすみはいい場所ですよ。ほかにもいい場所はあると思いますけど。

東京や千葉に通う方ももちろんいますが、都市にも程よく近く、里海里山が豊かな場所で、自分らしいライフスタイルを送りたいという意識の方が多いと思います。「いすみライフスタイル研

究所」というNPO法人が活発に活動していたり、大小さまざまなマーケットが行われていたり、小商い、ローカル起業が盛んなのも、そんな理由だと思います。最近はさらに多様化が進んでいます。「田舎フリーランス養成講座」に参加してそのまま移住する10代、20代も増えているし、家を安く買ってDIYで直しながら徐々に移住を進める人、2拠点、多拠点居住でいすみにとりあえず住んでみる、という人も増えています。

僕の個人的なビジョンですが、グリーンズの活動を通じて日本中に「いかしあうつながり」をつくれる人を増やしていきたいと思っています。自分と自分自身、人と人、人と自然が「いかしあう」関係性をつくれる人です。今後ますます、さまざまな分野で、関係性をつくれる人材が求められていくと思います。

いすみでは、ローカル起業と地元のローカル企業を市民みんなで応援して、資源を生かした豊かなローカル経済圏をつくりたいですね。市民がさまざまなことにチャレンジしやすく、可能性が発揮できるような街にしたいと思っています。

そして、いすみの持続可能性を高めていきたいと思っています。市民と企業、行政がタッグを組んで、ゴミを減らして資源をシェアする仕組み、自転車交通の推進、エネルギー自給などもやりたいと思っています。今後災害が起きたり、経済危機に対してもしなやかに対応できる街になるといいなと思います。

南房総ゾーンの主な移住支援団体

NPO法人いすみライフスタイル研究所



いすみ市で、豊かな自然環境をいかし、元気で活力ある「まちづくり」を進めています。民間の立場から「地方創生」と「移住定住」「まちづくり」を後押し。房総半島、いすみ地域の田舎暮らし情報提供も行っています。

〒299-4616

千葉県いすみ市岬町長者475

Tel:0470-62-6730 Fax:0470-62-6731

E-mail:isumi-style@bz03.plala.or.jp

ホームページは右記QRコードよりアクセス▶

